



～総会報告～

令和4年8月14日（日）13:30から浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター1階 ハーモニーホールにおいて、令和3年度の総会が開催されました。

総会員数101名（2021年度会費納入人数）に対し、出席会員数63名（出席者16名、委任状47名）で過半数を満たしました。

令和3年度の事業報告、決算報告、監査報告の後、令和4年度の事業計画案、予算案、規約の改定が提案され、参加者全員の拍手でもって承認されました。会員の皆様からご指摘やご提案を頂きました。私ども沖縄教育カウンセラー協会は、このように温かい会員の皆様から支えられながら活動ができていたことを改めて感じさせられました。ありがとうございます。今後ともより一層のご協力をよろしくお願いいたします。

協会発足時から理事としてご尽力いただきました友利加代子理事が、令和3年度をもってご勇退なされました。総会后、理事一同の感謝の気持ちを入れた花束が川上啓一会長より贈られました。本当に長い間、お疲れ様でした。



8月14日（日曜日：9：30～12:30）、ハーモニーセンターにおいて教育カウンセリング夏期講座として長田清先生の講座を3年ぶりに開催いたしました。

31人の参加者とともに、ワークあり、音楽あり、ネタありの長田ワールドを楽しみました。3時間があっという間に過ぎ、「そうそう、沖縄教育カウンセラー協会の夏期講座ってこんな感じ！おもしろくて為になるんだよね」と改めて思いました。今年度は1講座のみの開催でしたが、次年度は、このように楽しい講座をより多く開催できるようにしたいです。

<受講者の振り返りアンケートより>

☆“どうなりたい？×3”の声かけ

ワークを通して体験し、目標をイメージすることができた。また、自己責任で行動するようになる“自分が変わりたい”と思う事ができるんだと感じました。また、目標を持ちなさいと言っても効果なし。人の行動を変えるには楽しいと思わせる事。胸に響きました。

☆人生楽しくユーモアを持って、つらいことはリフレーミングしていく。問題の解決を導くキーワード「どうしたい」「どうなりたい」]

☆前半、解決志向アプローチの紹介で“問題と解決は一致しないことが多い”という部分が、ピンとこなかったが、ワークを通して、その部分を体験でき、理解が深まりました。

☆問題にとらわれない、どうなりたいかを考えるということ。リフレーミングでものごとの良い点に目を向けると、意識が変わるということ。すぐ実践してみたいと思いました。

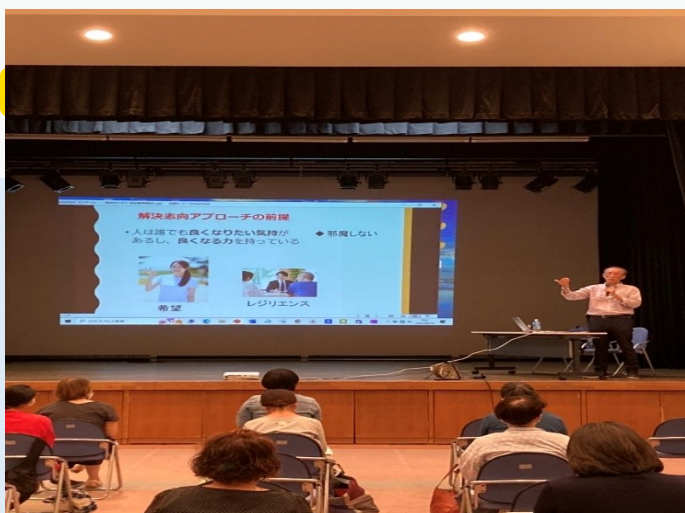
☆起こっている事象が1つでもとらえ次第で、いくらでもポジティブにとらえられるんだなという事。

☆目標は具体的で取り組みやすく、本人にメリットがあって楽しいこと!! ムリやりの目標ではなく、本人にメリットがあることが続けられることなんだと思います。外から決められるものではなく“やる気”になれる目標づくりのお手伝いができたらいいですね。

☆リフレーミングをすることで、自分自身をゆるしていきやすくなるなあと思いました。リフレーミングをするために、広く高い視点から物事を観るように意識していきたいと思います。

☆長田先生の解決志向アプローチの講座を初めて受けたのは6年くらい前です。考え方が確実に変化しています。ありがとうございました。

受講者の皆さま、ありがとうございました♡



夏休み期間中に、仲村将義先生のスキルアップ講座として2つの講座を開催しました。いつものがらに学びの多い講座となったようです。参加者の感想をご紹介します。

カウンセリング基礎講座(3日間集中講座) 8月3日(水)、16日(火)、19日(金)

非言語的技法では、「メラビアン法則」に触れ、カウンセリングにおいて非言語コミュニケーションの割合の高さを根拠とし、技法を意識した練習を行いました。日頃から、うなづきや相槌など意識して取り組んでいますが、練習では呼吸を合わせることに取り組み、相手と同じ感覚になることは出来ないけれども、それに近づけるということを学ぶことが出来ました。身体感覚で相手に合わせるといことは簡単なことではないかもしれませんが、日々、同僚との会話やSC業務などで意識して取り組んでみようと思いました。そして、意識せずとも自然にできるように、時には資料を読み返して振り返れるようにしようと思います。

非言語的技法は日頃の自分の表情が大事だと思った。オンラインで研修を受けていると、イヤでも自分の顔が画面上に写る。それを見ていると、表情や仕草など、ふとした瞬間の自分は他人にどう見られているのか少しわかった。ちなみに、16日の自分は眉毛が八の字で眉間にシワをよせていた。・・・反省。もっと笑うべき。

前半に前回の振り返りと参加者からの質問や感想をシェアリングしてもらえたので、他者の質問を通して確認できることがあり良かった。例：面談で「問題ない」と言われるのはリレーション不足の状態。現在、気になる生徒とのリレーションを築けていないと再確認した。國分先生のコーヒーカップ方式。頭ではわかっている。しかし、支援してあげたいの一心で、勇み足になってしまう自分の癖にも気づいた。(相手にも打ち明けるタイミングや話す相手、話す内容を選ぶ権利がある。自分だってそうだ。)

実践的生徒指導・教育相談 8月17日(水)

・子供、保護者、同僚、いずれにせよ「良好な関係」を築くことが重要。

・私たち受講者(実践者)が意識することは、有効な手立てを講じること以上に、対象者にかかわりつづけるということ、視点を変えれば、「この人は私に関心があり、目を合わせて話しを聞いてくれる」と感じさせる人であるということ。

☆ 取り入れてみようと思うこと 「クラス会議」

課題：教師の意識改革

・「問題を危険視し、教え諭す価値の押し付け」から「学級集団力を高めるチャンスと捉え、自治的活動のコーディネート」へのチェンジ

対策1：実践意欲の向上を図る

エンカウンターミニエクササイズ(校内研修済み)や「5分間プログラム」を実施し、学級の高まりを指導者に感じさせる(管理職等が教諭へかかわる)

対策2：かかわらせる・考えさせるを日常化

「自己指導力を育てる面談シート」の内容を、問題が発生した時だけでなく、小さな悩み相談や子供とのおしゃべりの中でも意識するよう促す。

講座の中で、新川元樹教諭による「クラス会議」の実践紹介がありました。

教育講演会
「子育てを失調からどう護るか」
滝川 一廣先生
(あなはクリニック 児童精神科医師)

2022年6月5日（日）浦添市のハーモニーセンター 1階ホールにて、滝川一廣先生による教育講演会が開催されました。2020年の夏に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延を受けて延期となっておりましたので、2年越しのラブコールに込めての開催となりました。滝川先生のお人柄のようにあたたかな空気が会場に満ちていました。

【感想より】

- ▶先生のお人柄を通して直接お話しを伺う事で、著書から学ぶ以上の気づきがあった。「子育ては無免許」「子育てに痛みが残らない人はいない」などで、自分自身の子育ての後悔も癒されると共に、支援を必要とされている方々へ向かう（自身の基本的な姿勢を振り返る機会となった。
- ▶今と昔の子育ての失調の違いという考え方がいいな、子育てをめぐる時勢や文化の変化に気づきがあった。社会全体が支え合っていく大切さと、行政に訴えていく必要を感じた。
- ▶「育児からゆとりを奪っているものは何か」に共感し、「大変ですね」と分かって、「親の困り感」に寄り添う。しかし、教師にもゆとりがなく悪循環を感じた。失敗の無い子育ては無い。親も教師もゆとりが大切。
- ▶現代社会の多様化する子育て環境（ひとり親家庭やステップファミリー）など、子どもたちの心の安全基地や居場所を、保護者の方と共に支援・援助していくことが重要であること。また、そのことを社会全体で継続して支えていくことが重要であると思いました。
- ▶まずは、保護者が抱えている荷物を降ろしてもらえるように寄り添っていきたくと思いました。
- ▶先生の著書を読みたい。
- ▶家庭への介入の仕方について、より具体的に学びたいと思いました。
- ▶講話の時間がもっと長いと良かったです。



実践発表交流会

2022年6月5日（日） 9：30～12：00 浦添市ハーモニーセンター1階 ホール

実践発表者：【一人一人がいきいきと～特別活動を通して～】仲村幸子（小学校教諭）

【勇気づけによる変容を目指す S 君との関係づくり】吉本勝美（小学校教諭）

【RCT の関りを取り入れた R 子へのアプローチ】前田由子（小学校教諭）

- ▶子どもたちから学ぶという視点、そこからの気づきが生まれる実践。改めて子どもに寄り添うとは何かを考える機会になりました。（経験と共に薄れてきていたかも。）勇気づけを実践している具体的な事例は、即、取り入れたいと思いました。アウトプット「成すことによって学ぶ」ですね。
- ▶子どもから学び、子どもと共に成長していく。課題にぶつかる（ピンチ）ことは、自己を成長させる（チャンス）ことである。
- ▶どの先生の実践もとても勉強になりました。やはり、1年間実践することで、子どもが変容するのはとてもいいなと思いました。子どもとのリレーション・自己指導力・保護者とのリレーション・ルール作りなど、自分の学級を思い浮かべながら、気持ちをあらたに実践していこうと思いました。

勉強会・学習会

沖縄教育カウンセラー協会では、会員の皆さまを対象に、勉強会を開催しております。現在4つの学びの場があります。以下に紹介します。

尚、新型コロナウイルス感染症の状況により変更となる場合があります。どうぞ、日程や会場等詳細につきましては、事前に連絡先又は事務局までお問い合わせください。

今後、勉強会への参加が資格取得につながられるよう、研修時間を証明することを検討しております。会員の皆様の学びのサポートができるよう努めてまいります。

構成的グループエンカウンター学習会「いろいろの会」

担当：照屋初美 仲里直美 鈴木美奈子

内容：構成的グループエンカウターの理論と実践を学ぶ。学校で行うスペシフィックS G Eの演習あり！

期日：奇数月 第2土曜日 9:00~12:00

次回は、11月12日（土） ※今年度は残り1回 令和5年1月14日（土）

場所：男女共同参画ハーモニーセンター（浦添市）

連絡先・問い合わせ：照屋 初美 hatsumit0531@gmail.com

教育カウンセリング標準テキスト勉強会「ていんがあら」

担当：濱川尚子 仲里直美 仲村芳美

内容：標準テキストの学習。勉強会なので輪番でテキストのポイントについて説明し合います。

期日：次回は、11月26日（土） ※今年度は残り1回 令和5年1月28日（土）

場所：男女共同参画ハーモニーセンター（浦添市）

連絡先・問い合わせ：仲里直美（与那原中学校）

メール：naomi_nakazato@yahoo.co.jp

スクールカウンセラー勉強会

担当：波平利美 稲葉律子 神保しげみ

内容：スクールカウンセラーとして活動している会員の学びあい。情報交換やグループスーパービジョンで互いにサポートしています。

期日：年3~4回程度

場所：男女共同参画ハーモニーセンター（浦添市）

連絡先・問い合わせ：事務局

QUスキルアップ学習会

担当：稲葉律子、神保しげみ、玉城弘美

内容：Q-Uの講師として活動している会員を対象にしたスキルアップのための学びあい。

期日：年5回

場所：男女共同参画ハーモニーセンター（浦添市）

連絡先・問い合わせ：事務局

リレーエッセイ ～自由な発信の場として～

51号のエッセイストは、下門美恵子副代表です。カウンセリングを学ぶことで、自分自身が成長し、周りの方々への感謝の思いがますます強くなっていかれたプロセスが伝わってくるエッセイです。



カウンセリングと私

下門 美恵子

カウンセリングを学ぶことが出来て、ホントに良かった！と、つくづく思う毎日です。夏休みに入り、久々に自室でゆったり過ごす時間が持てたので、今日は「カウンセリングにまつわるアレコレ」について書いてみます。

私が始めて出席したカウンセリング関係の研修会は、平成3年に琉球大学で行われた、新里里春先生の「交流分析」の講座でした。今までに聞いたことのない用語に面くらいなながらも、新しい学びに喜びが湧き、それから継続して「交流分析」の講座に出席し、「交流分析」（エゴグラムやストローク）の虜になった私でした。

それから、平成7年に県立教育センターで1年間「いじめ」をテーマに、高校現場代表の長期研修生として、小・中の現場から来た仲間と共に研究する機会が得られたのも、「いじめ問題」・「カウンセリング」への関心と責任感が高まり、有り難いことでした。

同時に、「もっと早くカウンセリングに出会っていれば、もっといい教師や母親になれたのに！」と痛感しました。その思いがあったので、カウンセリングに興味・関心を持っている周りの方々（スクールカウンセラーとして勤務していた学校の職員・支援員・知人など、ご縁があった方々）に声かけをして、月1回（土曜日）ボランティアで「カウンセリング勉強会」を主宰することが出来たのは、幸せなことでした。2011年4月から始めて、コロナのこともありましたが私の事情もあり、2019年10月に第90回勉強会をもって終了となりました。ずぼらな私が、8年6ヶ月もカウンセリング勉強会を続けることが出来たのは、のべ22名の方々との和やかな交流をしながら学び合う喜びがあったからです。おかげさまで、私の人生航路で「達成感」を味わうことが出来た取り組みとなりました。

一方、カウンセリングを学び続けてきたことで、念願だったスクールカウンセラーの委嘱を受けることが出来ています。現在は週3日、高等学校や小学校に出向き、受容・共感をモットーに、児童生徒・保護者・職員・支援員の方々と信頼関係を築きつつ、役に立つカウンセラーでありたいと願いながら勤務しています。

過去を振り返ると、やり直したい衝動にかられる位、反省点の多い私ですが、カウンセリングを学び続けて来れたおかげで自分を許し、ポジティブな生き方が出来るようになりました。カウンセラー協会でも勤務校でも、多くの人たちとの交流や接点があり、役割を感じながら毎日を送ることが出来るのは「本当に幸せなことだ」と、感謝でいっぱい私であります。

1999年に日本教育カウンセラー協会を設立なさった國分康孝先生の言葉「**治そうとするな、分かろうとせよ**」は、カウンセラーの姿勢として、私が常に心している金言であります。その姿勢こそ、アドラーの言う「**勇気づけ**」であり、國分先生が提唱なさった「**育てるカウンセリング**」の原点の一つと言えるのではないのでしょうか。

ホームページがリニューアルされました!!

長い間お待たせしました。研修案内や研修の申込みが、ホームページを通して可能になっています。ご活用下さい。

<https://jeca.okinawa>



会費納入のお願い

今年度の会費 1年分 3,000円（2022年7月～2023年6月）納入は、銀行振り込みでお願いしております。皆さまから会費を頂戴することで、協会の運営が成り立っています。納入がまだの方は、年度内に納めていただけますよう宜しくお願い致します。納入済みの場合には、行き違いですのでご容赦下さい。

※申し訳ございませんが、お振込み料金のご負担をお願いいたします。

※昨年2021年度会費未納の方は、恐縮ですが、2年間分の会費のお振込みをお願いいたたく存じます。

※納入状況の問い合わせは事務局（前花）まで。

※協会規定により、3年間会費未納の方は、自動的に退会となります。当協会よりの講座案内・ニュースターの送付・会員価格での講座受講を終了となりますので、ご注意とご了承下さい。

※お手数ですが、退会をご希望の場合は、協会事務局へご連絡ください。

<振込先>

沖縄銀行 末吉支店 普通

口座番号 (145-1444374)

名義

(特非) 沖縄教育カウンセラー協会 代表 川上啓一

中級教育カウンセラー資格試験を受験なさる方を対象に、対策講座を開催します。詳細については同封のチラシをご覧ください。

八重山支部活動再開

7月23日の第1回教育カウンセリング講座並びに総会の開催をもって、八重山支部が8年ぶりに東由美子支部長のもと活動を再開いたしました。

年間3回の講座を予定しており、すでに2回まで終了しております。

八重山支部の活動再開を機に、教育カウンセリングの実践や仲間が広がっていくことを期待して、門出を祝します。

令和4年度の活動計画

第1回 7月23日(土)

「構成的グループ・エンカウンターで人間関係づくり・学級づくり」

照屋初美

第2回 9月10日(土)

「子どもとの関わり方～効果的なリレーションづくり～」

神保しげみ

第3回 11月19日(土)

「教育現場の課題に即した実践的スキル」

仲村将義

編集後記

「神保先生の恐竜の卵のコントロール力、ハンパないよな～」と2年生のA君のほめ言葉に「でしょう。神保先生は恐竜の卵を作り続けて10年以上だからね」と私。「じゅうねん！じゅ～ねん！」とハンパなくびっくりしているA君を見て、「そうか～、8歳の彼からすると、10年という年月はまだ体験したことのない年月なんだ」と思った。

ジャーネーの法則によると「感じられる時間の長さは、年齢と反比例的な関係にある」とのこと。8歳のA君にとっての1年はそれまでの人生の12%であるのに対し、還暦の私にとってはたったの1.66%でしかない。人生の時間を無駄にしないためには、「新しい体験をする」「ストレスを感じるチャレンジをする」といいらしい。

そこで、神保は新しい体験、水彩画を習い始めた。「こっだけ仕上げるのに1ヶ月以上もかかってちゃ、ダメだよ！」と先生に叱られながら……。

特定非営利活動法人 沖縄教育カウンセラー協会

JECAO

〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅2-3-1 なは市民協働プラザ2階201

電話 098-851-5257 F A X 098-851-5258

メールアドレス jim@jeca.okinawa (事務局) jecaokinawa@gmail.com (研修申込み)

ホームページ <https://jeca.okinawa/> (新しくなっています)